

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和四年九月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第972号

龍

跳

第七十八卷

10

月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書

半世如石一
生心事淡於秋

子雀書

半世巧名寒似石一生心事淡於秋

智永真草千字文

隱惻造次弗離節義廉退
德悃造次弗離節義廉退

隱惻造次弗離節義廉退

堅持雅操好爵自縻都邑
堅持雅操好爵自縻都邑

堅持雅操好爵自縻都邑

智永真草千字文

千字文は、梁の武帝が殷鉄石に命じて王羲之の書の中から重複しない一千個の文字をうつしとらせ、更に周興嗣に命じて、それを順序だてて列べ脚韻をふんだ文章を作らせた。智永が写した千字文はすなわち周興嗣本である。

大黒仙雲書

一徑梅香雲滿地半窗花影月籠沙

一徑梅香雲滿地
半窗花影月籠沙

仙雲書

佐々木港花書

夜吟秋山上しゅうしやう裊々秋風歸月色清且冷桂香落人衣

夜吟秋山上
裊々秋風歸
月色清且冷
桂香落人衣

港花書

梅川桂龍書

曉看紅
濕處

あかつきくれないしめ
曉に紅の湿れる処を看れば

梅川桂龍書

花重錦
官城

花は錦官城に重からん
きんかんじょう

福原 晓雲 書

遊 画
觀 隱
坐

幽隱ゆういん游觀ゆうくわん足る

福原曉雲臨

智永真草千字文

節義廉退



岡本空仁臨

今在門下七十餘年
氣味清此大受也

空仁

江西澄翠書

解馬校頭夾編文
湖美之圖皆文章

澄翠書

弘田賀峰臨

有玄奘法師者法門之
領袖也多懷貞敏早

賀峰臨

西山極山臨

暮春同賤障水花光
合遘教一首終句如禱

西山臨

惠止觀妙門頂戴供養
不取似磨已冷似堆惠子

門田惠子

中前看月忘極是地上需
系須望方低江日如鄉美峰

中平美峰

不能性淡為吾友升
解心寬是我師幸仙

中平幸仙

世宗廓土岸竟子孫遷于雅
州之郊分止右扶風或在安洋堂

浜崎洋堂

其所以清酌庶羞登
于三妃贈替羞友人收

小笠原広人

林聖地之所貴煙
露性之新一適宏子

丸田宏子

憎而善度尊教者混
善惡而成務大哉惠泉

津野惠泉

顯勳方富比方先
榮不並志解於翠

岡林 翠

已冲玉醜飛多梅
突萃新恒田鐘朱鳳

藤原朱鳳

而歎日有客在酒者
伴無者月白風美賀

大野美賀

条幅当選作品 梅川桂龍 選評

★天位

門田恵子君 原帖をよく捉え流れ良し。落款布置は一考。
中平美峰君 潤渴、文字の大小を駆使し見応えあり。
中平幸仙君 忠実な筆の動きで雅味あり。
浜崎洋堂君 几帳面な運筆、墨量を多くすれば重厚味が
出るのでは。

小笠原広人君 字々安定し流れ良し。

★地位

丸田宏子君 ゆったりと流れ独特の風趣あり。
津野恵泉君 線質深く、墨色良く素直な臨。
岡林翠君 字々やや孤立の感、流れが加われば更によ
くなる。

★人位

藤原朱鳳君 大胆なタッチで迫力はある。原帖に目をさ
らしご加勉を。
大野美賀君 一生懸命さを感じる。頑張つて書き込んで
下さい。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

9月の審査は25日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査終了後、県展作品勉強会を行います。(参加費500円)

新氣

進銳

中学二年課題
武内美仁書

花鳥
香語

10月20日締切

夢
無
中
我

10月20日締切

小学六年課題
松崎緑花
書

希望の道

10月20日締切

な親

心切

10月20日締切

小学四年課題
弘田賀峰書

い美
鳥し

10月20日締切

文字

10月20日縮切

なわ

とら

布置章法

布置とは字配りのこと。章法とは作品構成上の種々の配慮のこと。つまり、変化と統一の原理を配字の上に適応するのが布置章法であるといってもよい。具体的には、紙面に対して、文字の配置具合を考え、さらに、文字の大小・墨色の変化（濃淡潤渴）・余白美等を工夫することである。布置章法がうまくいくと、上下、左右の字がそれぞれ互いに他を生かし合い、行と行、文字群と文字群とが美しい関係を持つようになる。そして余白が生き、黒い字面の部分と、白い余白とがほどよい関係になるわけである。理にかなったおさまり方をした時、すぐれた作品が生まれるのである。

（書学大系 研究篇より）

令和4年度（10月～） 高知県立美術館「県民ギャラリー」書道関係日程表

第76回 高 知 県 展	前期 9月22日(木)～10月2日(日) 後期 10月13日(木)～10月23日(日)
第29回 高知県美術家協会展	12月6日(火)～12月11日(日)
第62回 小中学生書道コンクール (JA共済)	12月16日(金)～12月18日(日)
2023年 岡豊高校37期生卒業制作展	令和5年1月31日(火)～2月5日(日)
第53回 高知大学書道部OB展	2月7日(火)～2月12日(日)
第23回 高知県学生書道展	2月17日(金)～2月19日(日)
第73回 こ ども 県 展	2月28日(火)～3月5日(日)
第57回 高知県美術教育総合展	3月7日(火)～3月10日(金)
第51回 高知県オールドパワー文化展	3月16日(木)～3月21日(火)
第72回 桜雲書道会百人展	3月24日(金)～3月29日(水)

学校名		ん	ら	の	っ	た	み
		の	う	や	て	が	ん
六年		詩	た	さ	い	い	な
		や	め	し	な	に	な
級段		童	に	さ	け	や	で
氏名		話	賢	を	れ	さ	力
		を	治	人	ば	し	を
		書	は	々	な	い	合
		いた	は	に	ら	心	わ
		た。	た	育	な	が	せ
			く	て	い	通	る
			さ	て	。	い	に
				も	そ	合	は

学校名										
五年										
級段										
氏名										
	よう	は	声	く	こ	お	お	お	お	お
	う	、	を	か	と	み	み	み	み	み
	に	真	か	ら	立	つ	つ	つ	つ	つ
	店	っ	け	お	っ	さ	さ	さ	さ	さ
	の	赤	ま	か	て	ん	ん	ん	ん	ん
	前	に	し	み	い	が	が	が	が	が
	を	な	た	さ	た	あ	あ	あ	あ	あ
	は	っ	。	ん	の	ん	ん	ん	ん	ん
	な	て		が	で	ま	ま	ま	ま	ま
	れ	、	お	出	、	り	り	り	り	り
	ま	に	み	て	店	長	長	長	長	長
	し	げ	つ	き	の	い	い	い	い	い
	た	る	さ	て	お					
	。		ん							

学 校 名						
四 年						
級 段						
氏 名						
	た	辺	ま	つ	れ	そ
	ず	り	し	ね	た	の
	ら	の	た	ら	山	の
	ば	村	。 夜	と	の	中
	か	へ	で	い	中	山
	り	出	も	う	に	か
	し	て	昼	き	、	ら
	ま	き	で	つ	コ	少
	し	て	も	ね	ご	し
	た	、	も	が	ん	は
	。	い	、	い	ぎ	な

学校名						
三年						
級段						
氏名						
	い	で	兄	さ	上	赤
	日	、	ち	ん	が	い
	で	走	ゃ	は	っ	火
	し	り	ん	、	て	が
	た	ま	を	ち	い	、
	。	し	両	い	ま	あ
		た	手	ち	し	ち
		。	に	ゃ	た	こ
		風	つ	ん	。	ち
		の	な	と	お	に
		強	い	お	母	

がっこう	り	ぱ ^o	ぼ ^g	ぎ ^g	「
	ま	い	う	た	花
二	し	の	し	と	や
ねん	た		は	き	さ
きゆう	し ^o	ぼ ^g			ん
なまえ		う	鳥	三	を
		し	で	リ	通
		に	い	ー	り
		な	っ	の	す

がっこう	お	う	ジ	
	ろ	え	ャ	く
一 ねん	し	に	ン	じ
だ きゆう なまえ	ま	、	グ	ら
	し	み	ル	ぐ
	た	ん	ジ	も
	。	な	ム	は
		を	の	、

がっこう				
ほ ねん	お	じ	ま	ま
	っ	ゅ	あ	あ
きだ ゆうん	き	う	る	る
なまえ	さ	ご	い	い
	ま	や		

令和四年十一月号からの規定課題

次北固山下

王 灣

客路青山外

客路 かくろ 青山の外 せいざん ほか

行舟緑水前

行舟 こうしゅう 緑水の前 りよくすい

潮平兩岸闊

潮平 うしおたい らかにして 兩岸闊く りやうがんひろく

風正一帆懸

風正しくして 一帆懸かる いっばんか

海日生殘夜

海日 かいじつ 殘夜に生じ ざんや

江春入舊年

江春 かうしゆん 旧年に入る きゆうねん

鄉書何處達

鄉書 きやうしよ 何れの処にか達せん いす ところ

歸雁洛陽邊

歸雁 きがん 洛陽の辺 らくよう へん

通訳

私の旅路は青山の外を回り、

小舟は緑の水を前にして停泊した。

潮が満ちて長江は平らになり、兩岸が遠のいて広々と見え

順風に帆をあげた舟が一そう見える。

まだ夜は明けやらないのに、東の海から日が昇ってきた。

ここでは春が早く、年の暮れだというのにもう春が訪れているようだ。

旅の途中にあつては故郷からの手紙は、どこまで届いているものかわからない。

私の手紙は、春に帰る雁といっしよに洛陽あたりについているだろうか。

江船火
獨明 福原曉雲

江船火
獨明 岡崎緑水

江船火
獨明 紫陽

江船火
獨明 多嘉君

江船火
獨明 清園

江船火
獨明 花梢君

江船火
獨明 喜泉君

江船火
獨明 竹山君

江船火
獨明 隆志君

江船火
獨明 美佐貴君

江船火
獨明 仁美君

江船火
獨明 紀美子君

江船火
獨明 増水君

江船火
獨明 清園

江船火
獨明 増水君

(一・二段目) 福原曉雲 選評
 賀峰君 結構正整安定す。選評
 惠花君 筆力紙背にあつて伸々と書
 澄翠君 ソフトな線で品格有。選評
 花梢君 伸びあつて明い作だが、
 今後一番大事な箇所、右払
 いです。研究を。
 清園君 骨格あつて明い作だが、
 ハネ、拙い、力味過ぎです。
 今後ソフトタッチの運筆を。
 喜泉君 力強く明い作、半紙に対
 し、柔い線も大切です。勉
 強を。
 (二・三段目) 岡崎緑水 選評
 竹山君 基本に忠実で統一感のある
 作。
 紫陽君 ゆつたりとした安定感あり。
 玉水君 少し多墨だが、線に丸みあり
 り佳。
 多嘉君 線質、形、共に良いが、も
 う少し大きい線が入れば尚
 よくなる。
 惠泉君 筆の穂先がよく活躍してい
 る。
 (三・四段目) 野島桂山 選評
 英子君 堅実な書きぶりに好感がも
 てる。
 隆志君 やさしく真面目な作。
 広人君 線質良く安定している。
 美佐貴君 あまり飾らず素朴に仕上
 がつている。
 仁美君 安定感のあるすばらしい作
 品。
 紀美子君 力みなく全体のまとまり
 もよい。
 (四段目) 岡林邦心 選評
 清辰君 隷書の雰囲気かして力強い。
 慶子君 落つきのある作。
 増水君 いていねいで明い作。

舒光射
丸拍藤心丸

也其先
盖周之吉本氏

早凉秋
尚嫩早凉秋

如上
佐事仁孝子

江胎心
娼如娼如

则僕射
见尚事介め味

茶芋可
未尚致美子氏

早凉秋
尚嫩花穂七

弦保
小糸相国志

早凉秋
尚嫩悠道公

住西京
龍興寺衣心氏

性索
妬媿淡原氏

張仲以
孝友孝友

神武天
眩光中氏

御香雨
累及美代氏

臨文
嗟悼序子氏

謂不救
抑反京氏

早凉秋
尚嫩坂千柳子

濯疑酒
心求易仲枝氏

為晏作
後之視史惠氏

(一・二段目) 廣末幽念 選評

極山君 筆力あり安定した作。
澄翠君 柔らかい線で伸びやか。
桂園君 楽にかかれ明るい作品。
和子君 線美しく明るい。
恵風君 温かな線質で良い。

芳香君 リズム良く充実の作。

(二・三段目) 前田秀華 選評

竹山君 流れよく達者な字。
悠道君 無難にまとめている。
司郎君 よい線質を持っているが、
墨色一考。

絢子君 軽快にして手馴れた運筆。
星舞君 自然な運筆だが、もう少し
線に重厚さが欲しい。

(三・四段目) 武内美仁 選評

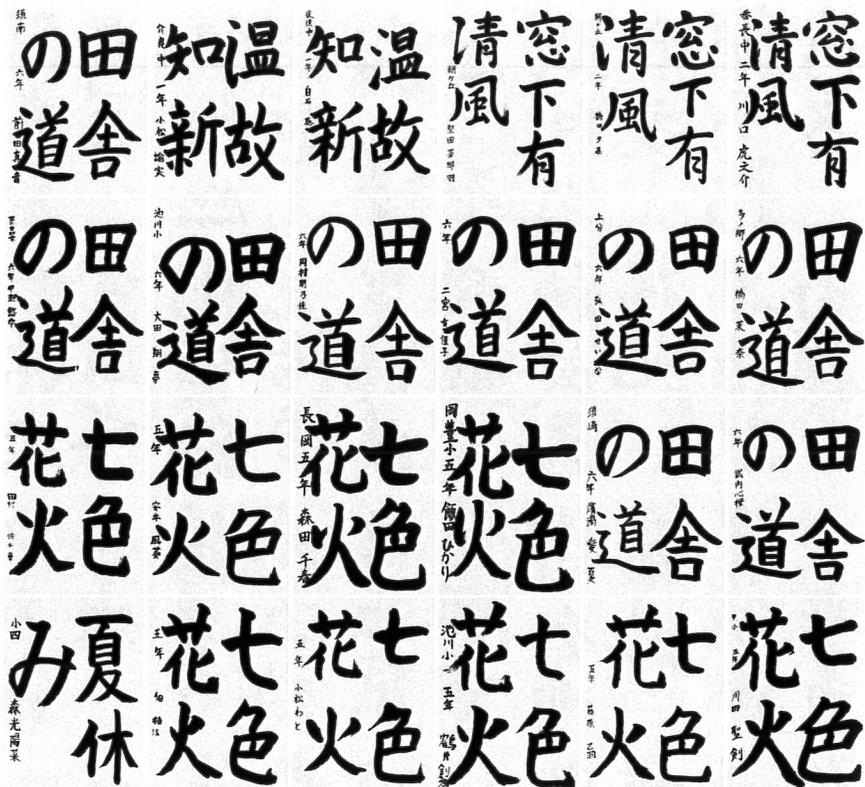
英子君 運筆巧みに調和し心地良い。
広人君 丁寧な運筆で気力充実の作。
美代君 楽に書かれて安定している。
仲枝君 線強く見応えあり。
知勢子君 大胆で流れあり。

花穂君 力みなく、全体のまとまり
も良い。

(四段目) 佐々木港花 選評

清辰君 無駄のない線ですごく素
晴らしいです。
慶子君 一文字目が普段と少し違う
かなと思いますが、二・四
文字目は素晴らしいです。

史惠君 いつも真面目に書いて感心
です。頑張ってください。



(二段目) 中学部 西山極山 選評

虎之助君 行書のやわらかい線に強さがある。
夕苺君 いていねいに書けている。
菜那羽君 おとなしい作品、メリハリがあつてもよいか
な。

葵 君 形をとらえ、よくまとめている。
論実君 ひとつしりとした落ちついた作品。
(一・二・三段目) 小学六年 大八木洋女 選評

真音君 気持ちがかもっている。
茉奈君 線がしっかりと書いている。
せいな君 しっかりと書いた線です。
有佳子君 やさしさが見える作品です。
朋乃佳君 明るい作品です。

翔夢君 堂々とした書きっぷりです。
悠守君 「田」の形に注意して下さい。
心桜君 しっかりと書いています。
愛夏君 一生懸命さを感じます。

(三・四段目) 小学五年 大原桂園 選評
ひかり君 堂々としています。
千春君 明るい作品です。
風葵君 のびのび書けています。

依千華君 強さがあります。
聖剣君 しっかりと書いた作品です。
乙羽君 いていねいに書けています。

創太君 元氣よく書けました。
わと君 落ちついた作品です。
柚汰君 ゆつたりしています。

(四段目) 小学四年 深瀬緑堂 選評
陽菜君 明るくよくまとめている。



(一・二段目) 小学四年

輝翔君 力強く、のびやかで良い。
 風佳君 じめじめに努力されているが「夏」に工夫を。
 一乃君 落ちて着いて最後まででいいねいです。
 統誠君 強い線でよく体が動いています。

あい君 堂々と力強く書けました。
 愛加君 ゆつたりと書け明るい。

彩 君 線に大小があれば、もつと良くなります。

(二・三段目) 小学三年

リサ君 リズムよくしつかり書けています。 奥堂皓月 選評

來音君 どうどうとして立派です。

桜心君 のびのびと力強いです。

か月君 いていねいに良くまとまっています。

香羽君 じめじめに書けています。

拓海君 のびのびとまとまっています。

(三段目) 小学二年

実咲君 力強くのびやかに書けています。 河村容舟 選評

朝陽君 元気に書けています。

太緒君 しつかり書けています。

そら君 おおらかに書けました。

あやな君 いていねいに書けました。

そうま君 よく書けました。

(四段目) 小学一年

たいき君 まとまりよく書けました。 石川美水 選評

よしひさ君 元気に大きく書けました。

さゆき君 おおらかに明るく書けました。

いぶき君 じょうずにしつかり書けました。

みらい君 元氣いっぱい書けました。

多ノ郷 橋田 茉奈
一ツ橋 岡村朋乃佳

朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえ、ていました。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼう、と現れては消えてゆきます。ゆ、くりとさがりが動いているのです。
多ノ郷六特賞、橋田 茉奈

朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえ、ていました。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼう、と現れては消えてゆきます。ゆ、くりとさがりが動いているのです。
一橋六、五、岡村朋乃佳

朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえ、ていました。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼう、と現れては消えてゆきます。ゆ、くりとさがりが動いているのです。
長岡六、六、二宮 有佳子

朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえ、ていました。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼう、と現れては消えてゆきます。ゆ、くりとさがりが動いているのです。
一ツ橋六、二、武内 心桜

長岡 二宮有佳子
一ツ橋 武内 心桜

須崎 濱渦 愛夏
久礼 中平 千友

朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえ、ていました。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼう、と現れては消えてゆきます。ゆ、くりとさがりが動いているのです。
須崎六、六、濱渦 愛夏

翌日の昼近く、じいさんはむねをわくわくさせながら、ぬま地に行きました。昨晚、つりばりをしかけておいた辺りに、何かばたばたしているものが見えました。
久礼五、八、中平 千友

翌日の昼近く、じいさんはむねをわくわくさせながら、ぬま地に行きました。昨晚、つりばりをしかけておいた辺りに、何かばたばたしているものが見えました。
長岡小五、七、森田 千春

翌日の昼近く、じいさんはむねをわくわくさせながら、ぬま地に行きました。昨晚、つりばりをしかけておいた辺りに、何かばたばたしているものが見えました。
長岡五、六、安井 風葵

長岡 森田 千春
長岡 安井 風葵

浦ノ内 寺田 滯
一ツ橋 飯田 桃萌

翌日の昼近く、じいさんはむねをわくわくさせながら、ぬま地に行きました。昨晚、つりばりをしかけておいた辺りに、何かばたばたしているものが見えました。
浦内五、三、寺田 滯

翌日の昼近く、じいさんはむねをわくわくさせながら、ぬま地に行きました。昨晚、つりばりをしかけておいた辺りに、何かばたばたしているものが見えました。
一ツ橋五、五、飯田 桃萌

まして、子グマだから無理もない。子グマは、かけのにおいをかいてみたが、なんのにおいもしない。地面に耳をおしつけてみたが、音もしない。
多郷四、七、森 光陽 某

まして、子グマだから無理もない。子グマは、かけのにおいをかいてみたが、なんのにおいもしない。地面に耳をおしつけてみたが、音もしない。
浦内四、六、宮地 輝翔

多ノ郷 森光 陽菜
浦ノ内 宮地 輝翔

浦ノ内 矢野 蒼真
一ツ橋 片岡 あい

まして、子グマだから無理もない。子グマは、かけのにおいをかいてみたが、なんのにおいもしない。地面に耳をおしつけてみたが、音もしない。
浦内四、五、矢野 蒼真

まして、子グマだから無理もない。子グマは、かけのにおいをかいてみたが、なんのにおいもしない。地面に耳をおしつけてみたが、音もしない。
一ツ橋四、三、片岡 あい

まして、子グマだから無理もない。子グマは、かけのにおいをかいてみたが、なんのにおいもしない。地面に耳をおしつけてみたが、音もしない。
在山西四、一、澤田 理

ぼくは、教室の後ろにおいてある水そうのところに、石の上のいたみどりがめか、ひよいと首をのぼして、ぼくを見上げた。
多郷三、四、大城 リサ

土佐山 澤田 理
多ノ郷 大城 リサ

硬筆優秀作品

附属 江頭 咲良
久礼 森岡 虹

ぼくは、教室の後ろに
おいてある水そうのこ
ろに行った。石の上にい
たみどりがめが、ひよ
いと首をのびして、ぼく
を見上げた。

秦 阿漕 結花
江ノ口 宮崎 莉緒

長おか 森田 実咲
さこ 田村けんご

町の 中を、いろい
けんすると、いろいろ
ろな ものを 見
けたり、できごと
に出会ったり しま
す。

町の 中を、いろい
けんすると、いろい
ろな ものを 見
けたり、できごと
に出会ったり しま
す。

町の 中を、いろい
けんすると、いろい
ろな ものを 見
けたり、できごと
に出会ったり しま
す。

町の 中を、いろい
けんすると、いろい
ろな ものを 見
けたり、できごと
に出会ったり しま
す。

須南 田中 碧空
一ツばし 東きようたろう

一ツばし 金お さくら
すさき りようきあみ

町の 中を、いろい
けんすると、いろい
ろな ものを 見
けたり、できごと
に出会ったり しま
す。

わたしは、おん
がくのじかんに、
うたをうたいまし
た。

わたしは、おん
がくのじかんに、
うたをうたいまし
た。

わたしは、おん
がくのじかんに、
うたをうたいまし
た。

すさき 田むらさきゆき
うらのうち いけ田 りん

うらノ内 もりたわかな
ながおか いの こうき

わたしは、おん
がくのじかんに、
うたをうたいまし
た。

わたしは、おん
がくのじかんに、
うたをうたいまし
た。

たかく たかく
せのびを
している
ひまわりさん

たかく たかく
せのびを
している
ひまわりさん

すさき こんどう すず
あそう うめばら ゆま

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

<p>★師範 廣末 幽念</p> <p>西山極山 江西澄翠 大原桂園 中平幸仙 大八木洋花 野中恵花 岩河里華 弘田賀峰 深瀬緑堂 岡林邦心</p>	<p>審査 廣末 幽念</p>	<p>随意</p>	<p>大庭桂紅 矢野峰臣 井口花道 戸田孝北 西森啓助</p>	<p>七級編入 多ノ郷 太田侑子 (遅着です)</p>	<p>★新規 多ノ郷○市川美香</p>	<p>★三級 南国 ○林 真裕</p>
<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>奥堂皓月 中平美峰 岡本空仁 市原處艸 河村容舟</p>	<p>★準師範</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>
<p>★四段 濱山星舞 岡本美水 岡本恵子 大井 淳 鈴木輝代 濱田順子</p>	<p>前田 秀華</p>	<p>★五段 龜井司郎 坂本絢子 岩村 祥 鎌倉春葉 橋本祝子 笠原多嘉 田村昭生 大平圭子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>審査 前田 秀華</p>
<p>★一級 澤谷清辰 楠瀬慶子 田内史恵 横川美代</p>	<p>武内 美仁</p>	<p>★初段 前田伸枝 井上知勢子 中田花穂 西尾明美 村田啓子 松島利恵 山本 房 吉村久美子 大原紀美子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>★二級 小笠原広人 杉本美代 森澤美佑貴 松本 絵 林 隆光</p>	<p>★二級 中澤英子 山崎隆志 池川千晶 坪内倫子</p>	<p>審査 武内 美仁</p>
<p>★一級 澤谷清辰 楠瀬慶子 田内史恵 横川美代</p>	<p>井上増水 毛利恋子 森光朋子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>	<p>★二級 中内泰子 ○中内泰子</p>	<p>岩崎旭峰 山崎望春 大崎花梢 山崎美泉 氏原美春 山西春草 西内仁子 吉田深美 浜崎洋堂 西森令泉 西村芳香 田中恵風 田村和子</p>
<p>★六段 朝ヶ丘 前田理功</p>	<p>朝ヶ丘堅田菜那羽</p>	<p>★九段 香長 川口虎之介 朝ヶ丘 橋田夕母 上分 小松慎吾</p>	<p>★特待生 須崎 鍋島祐里花 上分 朝比奈美空</p>	<p>★二年 朝倉 松本美桜</p>	<p>★三年 朝ヶ丘 前田理功</p>	<p>★七段 南 竹内雄星</p>
<p>★七段 朝ヶ丘 前田理功</p>	<p>★九段 朝ヶ丘 前田理功</p>	<p>★特待生 夜須 白石 葵 介良 小松諭実 朝ヶ丘 黄之瀬 隼</p>				

第867回毛筆成績
○印は昇級

小学部

毛筆六年

審査 大八木洋女

★特待生

須南 前田真音
多ノ郷 橋田茉奈
浦ノ内 正木希実

★八段

吾桑 松浦由奈

★七段

上分 弘田せいな
長岡 押岡岳登
蓮池 刈谷天海

★六段

長岡 二宮有佳子
江ノ口岡村枇茉莉
須崎 谷 愛莉

★五段

一ツ橋岡村朋乃佳

★三段

池川 杉本咲莉

★二段

池川 大田翔夢
上分 くぼ田愛生

★初段

吾桑 中越悠守
多ノ郷 今橋 蕾

★一級

一ツ橋 武内心桜

★二級

須崎 ○濱渦愛夏

毛筆五年

審査 大原 桂園

★八段

岡豊 飯田ひかり

★七段

長岡 森田千春

★六段

長岡 安井風葵
長岡 猪野雛子
岡豊 岡上真里

★五段

佐古 田村依千華
須崎 谷口彩心

★四段

甲浦 川田聖剣

★三段

池川 藤原乙羽
戸波 塩見維那
岡豊 西田紗菜
長岡 公文琉心

★二段

池川 鶴井創太
須崎 岡崎結愛

★初段

馬路 小松わと
一ツ橋 田北 杏

★一級

別府 佃 柚汰

毛筆四年

審査 深瀬 緑堂

★七段

多ノ郷 森光陽菜

★五段

浦ノ内 宮地輝翔
新莊 鍋島 緑

★四段

長岡 押岡風佳
長岡 池島基陽
上分 朝比奈来夢

★三段

一ツ橋 氏原一乃
多ノ郷 森岡快晴
長岡 二宮嘉奈子
上分 弘田美結

★二段

池川 大田統誠
須崎 毛利秀門

★初段

一ツ橋 片岡あい
一ツ橋 戸梶愛加
初月 川淵結衣

一ツ橋 宮田茉尋

★三級

馬路 ○上利綺沙

★六級

一ツ橋○志磨村彩
別府 ○庄武聖愛

★七級

浦ノ内 鍋島 緑
ふぞく
○三本はると

★新規

一ツ橋 梅原勇人
十級編入

★初段

須崎 玉置はる
上分 岡崎愛莉
秦 田邊り音
附属 川上詩乃
長岡 江頭咲良
上分やなぎ本さき

★四段

多ノ郷 大城リサ

★三段

須南 前田来音
須崎 谷口桜心
一ツ橋 安田悠成
上分 梅原百叶
多ノ郷 橋田天が

須崎 松田菜乃

★二段

池川 つるい香月
長岡北村さくら子

★初段

岡豊 西宮咲希
秦 玉城遙音
一ツ橋 田辺蒼月
池川 藤崎杜真
岡豊 島村倅空

★一級

江ノ口 宮崎香羽
一ツ橋 玉置はる

★初段

須崎 岡崎愛莉
上分 田邊り音
秦 川上詩乃
附属 川上詩乃
長岡 江頭咲良
上分やなぎ本さき

★二段

須崎 ○田村拓海

★三級

吾桑 ○梅原あおま
須崎 谷口桜心
一ツ橋 安田悠成
上分 梅原百叶
多ノ郷 橋田天が

★七級

岡豊 ○田所萌羽

★八級

秦 ○阿漕結花

★九級

多ノ郷 ○山村速人

もうひつ二年

★三段

審査 河村 容舟

★初段

長岡 森田美咲
小高坂 川西こうすけ

★二段

夜須 西村朝陽
佐古 田村けんご

★一級

馬路 小松太緒
須南 田中碧空
須崎 金堂りり
須崎 谷脇あいら
長岡 永尾まとい
須崎 津野せいか

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★二級 吾桑 ○高橋そら 吾桑 ○松坂みおね ★八級 戸波 ○塩見あやな 浦ノ内 ○宮地舜翔 ★九級 夜須 ○清藤 蘭 ★新規 十級編入 あそう吉門 そうま 吾桑 山本じょうたろう	須崎 領木あみ ★七級 長岡 ○押岡いぶき 池川 ○藤崎菜央 ★八級 上分 ○梅原みらい 長岡 ○猪野こうき 岡豊 ○しまむらこはる ★十級 多ノごう ○山村あいり 長岡 ○竹内かなこ	須崎 谷 愛莉 ★九級 須南 橋田菜奈 浦ノ内 正木希実 多ノ郷 前田真音 須南 橋田真音 浦ノ内 正木希実 ★八級 上分 弘田せいな 吾桑 松浦由奈 一ツ橋岡村朋乃佳 久礼 松本紗垂弥 附属 立石大翔	大谷北 ○山崎寧々 ★四級 須崎 濱渦愛夏 吾桑 中越悠守 ★一級 須崎 濱渦愛夏 吾桑 中越悠守
須崎 領木あみ ★七級 長岡 ○押岡いぶき 池川 ○藤崎菜央 ★八級 上分 ○梅原みらい 長岡 ○猪野こうき 岡豊 ○しまむらこはる ★十級 多ノごう ○山村あいり 長岡 ○竹内かなこ	須崎 谷 愛莉 ★九級 須南 橋田菜奈 浦ノ内 正木希実 多ノ郷 前田真音 須南 橋田真音 浦ノ内 正木希実 ★八級 上分 弘田せいな 吾桑 松浦由奈 一ツ橋岡村朋乃佳 久礼 松本紗垂弥 附属 立石大翔	須崎 濱渦愛夏 吾桑 中越悠守 ★一級 須崎 濱渦愛夏 吾桑 中越悠守	大谷北 ○山崎寧々 ★四級 須崎 濱渦愛夏 吾桑 中越悠守 ★一級 須崎 濱渦愛夏 吾桑 中越悠守

第663
 硬筆成績
 ○印は昇級

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
 書道用具萬般乞来店

(株) 818 百 齋

高知市南宝永町14-18
 TEL (代) (882) 1394番
 夜間・TEL (882) 1392番

<p>★五段 越知 藤野敏心 甲浦 川田聖剣 越知 米澤知那 一ツ橋 片岡絢女 一ツ橋 田北杏</p> <p>★四段 一ツ橋 德平温郎</p> <p>★三段 長岡 公文琉心 越知 岡田侑晟</p> <p>★二段 一ツ橋 奥田健琉 五所 濱田粹 須崎 岡崎結愛</p> <p>★初段 岡豊 西田紗菜</p> <p>★一級 浦ノ内 田中日向</p> <p>★三級 浦ノ内○寺田 澤 池川 ○藤原乙羽</p>	<p>★新規 四級編入 一ツ橋 飯田桃萌</p> <p>硬筆四年 こひつ 審査 野中 恵花</p> <p>★七段 多ノ郷 森光陽菜 新莊 鍋島 綜</p> <p>★六段 浦ノ内 宮地輝翔 初月 川淵結衣</p> <p>★五段 浦ノ内 矢野蒼真 浦ノ内 氏原一乃 一ツ橋 藤田結愛 長岡 押岡風佳</p> <p>★四段 一ツ橋 戸握愛加 一ツ橋 宮田菜尋 多ノ郷 森岡快晴 久礼 濱田かなで 上分 朝比奈来夢</p>	<p>★三段 一ツ橋 片岡あい 浦ノ内 藤田楓 上分 弘田美結 須崎 西村奏佑 南 西山あい 須崎 毛利秀門</p> <p>★二段 長岡 二宮嘉奈子 越知 和田莉歩</p> <p>★初段 一ツ橋 山下斗愛 越知 大原るい 一ツ橋 梅原勇人 浦ノ内 志磨村彩 浦ノ内 森田大翔</p> <p>★一級 土佐山 澤田 理 一ツ橋 辻信之助 浦ノ内 吉田心花 浦ノ内 岡林夢大</p> <p>★二級 馬路 ○上利綺沙</p> <p>★三級 須崎 ○川西桜空</p>	<p>★五級 須崎 ○川西蒼空</p> <p>★六級 大谷北○山崎流依 城東 ○持田和花</p> <p>★七級 別府 ○庄武聖愛 城東 ○布施実来 ふぞく 三本晴士</p> <p>硬筆三年 こひつ 審査 市原 處艸</p> <p>★四段 多ノ郷 大城リサ 一ツ橋 安田悠成 秦 上分 玉城遥音 多ノ郷 梅原百叶 松浦結菜</p> <p>★三段 附属 江頭咲良 須崎 谷口桜心 一ツ橋 松田菜乃 須崎 田田蒼月 江ノ口 前田来音 須崎 宮崎香羽 多ノ郷はし 田天が</p>	<p>須南 宮本里依羽</p> <p>★二段 久礼 森岡 虹 長岡北村さくら子 長岡 竹内陽南子 浦ノ内美島希以花 一ツ橋 松本かな 久礼 玉置はる 浦ノ内 津野凌功 浦ノ内 窪田菜優 久礼 松山 翔 浦ノ内 森田理央</p> <p>★初段 秦 阿漕結花 岡豊 西宮咲希 秦 川上詩乃 久礼 片岡あんり 久礼 武内生和 久礼 木下心結 上分 田邊り音 岡豊 島村倅空 須崎 岡崎愛莉 浦ノ内 山岡隼士 浦ノ内 矢野華絵 浦ノ内 森田 葵</p>	<p>上分 柳本きい 浦ノ内 安並乃愛</p> <p>★二級 浦ノ内○山本彩喜</p> <p>★三級 多ノ郷 山村速人</p> <p>★四級 浦ノ内 中田翔音</p> <p>★七級 浦ノ内 ○久保田健介</p> <p>★九級 岡豊 ○田所萌羽 池川 ○藤崎杜真</p> <p>★新規 七級編入 岡豊 中司ころ</p>	<p>こひつ二年 審査 小川 理香</p> <p>★三段 長岡 森田美咲 小高坂 川西こうすけ</p> <p>★二段 須崎 谷脇あいら 夜須 西村朝陽</p> <p>★初段 佐古 田村けんご 浦ノ内 中井とうや 浦ノ内 小池ゆうせい 浦ノ内 宮地舜翔 戸波 塩見あやな 浦ノ内 山本こうせい 浦ノ内 藤田あつひろ</p> <p>★一級 須南 田中碧空 一ツ橋 宮田菜瑠 吾桑 高橋そら 久礼こも 田ココモモ 吾桑 宮崎ほのか 越知 米澤はると 夜須 清藤 蘭</p>
---	---	--	---	--	--	---

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。 ★臨書は出典名を記入のこと。	一ツ橋 森田杏香 秦 中山柚希 一ツ橋 北琳太朗 吾桑 松坂みおね 須崎 金堂りり 久礼 今橋なのは	★二級 一ツ橋 ○山川そよ 須崎 ○津野せいか 久礼 高橋かな 上ノ加江 出来あや音 久礼 笹岡れいと 上分 橋田 陸 浦ノ内 中平みおり	★三級 久礼 下村いちか 久礼 松山たくと 久礼 松田ゆあ	★四級 久礼 黒原のあ	★五級 馬路 ○木下歌乃	★六級 久礼 ○黒原小夏	
	★七級 一ツ橋 ○東恭太朗 久礼 ○竹本七音	★八級 一ツ橋 ○金尾咲良 吾桑 奥田こはく	★九級 日下 ○井川こはく	★新規 十級編入 吾桑 吉門そうま 吾桑 山本じょうたろう	★初段 須崎 領木あみ 須南 西村たいぎ 須崎 毛利こはな 浦ノ内 正木芳尚 秦 清家逢生	審査 中平 美峰	こうひつ一年
	★二級 多ノ郷 ○山村あいり	★五級 浦ノ内 ○池田りひと	★七級 浦ノ内 ○森田わか 岡豊 ○しまむらこはる 浦ノ内 ○藤田いろは 浦ノ内 ○山本みずぎ 長岡 ○押岡いぶぎ 長岡 ○竹内かなこ	★八級 長岡 ○猪野こうき 上分 ○うめばらみらい 江ノ口 ○下村亜弥衣 久礼 ○池川ゆうま	★九級 一ツ橋 ○梅原虹心 池川 ○藤崎菜央 久礼 ○倉下かなる	★九級 須崎 ○金堂すず	★十級 多ノ郷 ○森光りいな 久礼 ○松山まりん 多ノ郷 ○太田朋希
	★十級 十級編入 吾桑 長山ゆうな 多ノ郷 坂本大和	★新規	十級編入 吾桑 長山ゆうな 多ノ郷 坂本大和	審査 中平 美峰	こうひつ ようち・ほいく	おひさま ○はしだかほ	多ノ郷 ○森光りいな

(出品票)

のり代

4年
10月
条幅

氏

名

臨書は出典名

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆



〒780-0818 高知市宝永町3-3
 TEL (088) 882-1454
 FAX (088) 884-7413

秋季昇段級試験合格者

九月四日審査

準師範・特待生になられた方は、顔写真とあいさつ文(簡潔に)を九月二十五日、審査日迄に本部に届けて下さい。
※合格者氏名はすべて順不同です。

準師範

松浦明子
丸田宏子
大崎紫陽

第一部

★六段

大平圭子
田村昭生

★五段

浜 恵子

★四段

山崎隆志

第二部

山本和美
池川千晶
高橋翠園
久保地初恵

★三段

濱田幸子
小笠原広人
松本 絵

★二段

横田仁実
井上知勢子
村田啓子

中学部

一年

★八段

竹内雄星

小学部

毛筆六年

★八段

弘田せいな
刈谷天海
押岡岳登

★七段

岡村枇茉莉
谷 愛莉
二宮有佳子

★六段

岡村朋乃佳

★五段

立石大翔

★四段

杉本咲優

★三段

くぼ田愛生
今橋 蕾
大田翔夢

★二段

中越悠守
武内心桜

★初段

濱渦愛夏

毛筆五年

★九段

飯田ひかり

★八段

森田千春

★七段

岡上真理
猪野雛子
安井風葵

★六段

田村依千華
西森美陽

★五段

川田聖剣

★四段

西田紗菜
塩見維那
公文琉心
永尾 庵
藤原乙羽

★三段

岡崎結愛
鶴井創太

★二段

田北 杏
小松わと

毛筆四年

★六段

鍋島 綜
宮地輝翔

★五段

池島基陽
押岡風佳
朝比奈来夢

★四段

二宮嘉奈子
高芝仁貴
宮本里依羽
氏原一乃
森岡快晴
弘田みゆ

★三段

大田統誠
島田 樹
毛利秀門

★二段

川渕結衣
戸梶愛加
片岡あい
宮田茉尋

★二級 濱田 梓 奥田健流	★二級 西田紗菜	★初段 寺田 滯 田中日向 後藤まなか 政岡希子	★二級 飯田桃萌
★八段 硬筆四年 渡部一翔 鍋島そう 森光陽菜	★七段 宮地輝翔 川淵結衣	★六段 藤田結愛 矢野蒼真 氏原一乃 押岡風佳	★五段 森岡快晴 はま田かなで 朝比奈来夢 戸梶愛加 宮田茉尋 牛窓環菜
★初段 毛利秀門 弘田美結 宮本里依羽 片岡あい 高芝仁貴 西山あい	★三段 和田莉歩 二宮嘉奈子	★二級 浅野由梨 大原るい 森田大翔 志摩村彩 山下斗愛 梅原勇人	★初段 澤田 理 辻信之助 吉田心花 上利綺沙 政岡明里
★五段 硬筆三年 大城リサ 松浦結菜 梅原百叶 玉城遥音 安田悠成	★四段 谷口桜心 松田菜乃 小松のぞみ 前田來音 田辺蒼月 江頭咲良 宮崎香羽	★三段 松山 翔 津野凌功 美島希いな 松本かな花 森岡にじ 窪田茉優 玉置はる 竹内陽南子 宮脇改太 北村さくら子	★初段 森田 葵 岡崎愛莉 矢野華絵 山岡単人 武内生和 田邊璃音 川上詩乃 阿漕結花 西宮咲希 片岡あんり
★二級 西村朝陽	★二級 しお見あやな 宮地しゅんご 田村けんご 小池ゆうせい 中井とうや ふじたあつ大 山本こうせい	★初段 つのせい 金堂り花 宮崎穂花 高橋そら 松坂みおね こも田コモモ いまはしなのほ 山川そよ 田中碧空	★二級 森田 葵 岡崎愛莉 矢野華絵 山岡単人 武内生和 田邊璃音 川上詩乃 阿漕結花 西宮咲希 片岡あんり
★六級 井川こはく	★初段 田村さゆき 山むらあいき さわだすず	★八級 おおたともき	★九級 さかもとやまと
★一級 橋田 陸	★三段 谷わきあいら	★四段 川西こうすけ 森田実咲	★三段 谷わきあいら
★初段 こうひつ二年	★四段 森田実咲	★三段 谷わきあいら	★初段 森田実咲

(出品票)

秋季昇段試験担当

【集約係】

西山極山
岡本空仁
西森令泉
天野喜泉

【展示係】

塚地桂峰
野島桂山
山崎旭峰
浜崎洋堂

【集計係】

堅田清園
大原桂園
山西春草
佐竹江月

【会計係】

隅田亘心

【審査員】

○印は責任者

◎第一部

○福原暁雲
梅川桂龍
廣末幽念
前田秀華
岡崎緑水
武内美仁

◎第二部

○岡林邦心
西山極山
大八木洋女

◎学童毛筆

中学、小学五年
○岩河里華
河村容舟

◎学童毛筆

小学四年、保育
○深瀬緑堂
大原桂園

◎学童硬筆

六年、五年
○江西澄翠
小川理香

◎学童硬筆

四年、三年
○森本寿山
市原處艸

◎学童硬筆

二年、一年
保育・幼稚
○野中恵花
石川美水

のり代	校名	氏名	段級
4年10月筆	保学年		
年	年		

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入手の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

のり代	校名	氏名	段級
4年10月硬筆			

お知らせ

☆第76回県展書道の部

搬入 令和4年10月5日(水)

会期 10月13日(木)～23日(日)

午前9時～午後5時

(最終日は午後4時まで)

※会期中無休、入場は午後4時30分まで

(最終日は3時30分まで)

会場 県立美術館

☆第44回書心会書展

会期 11月18日(金)～20日(日)

午前9時～午後5時

(最終日は4時まで)

ご注意

郵便物が届く迄に四～五日かかって
います。

従って、審査日の翌日以降に届いた
作品は遅着作として競書外扱いとなり
ますのでご注意ください。

なお、速達便・レターパック便は、
通常どおり届いています。念の為。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925
電話(〇八八九)三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八)八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七)二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九)四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九)四七―〇七二二番

○今日は旭一の教室の月だ。木村会館が建て替えのため、お弟子さんの町の公民館をお貸りしている。行き帰りは、足腰が不自由なのでお弟子さんの車でお世話になっている。昇段試験の締切がもうすぐ迫っていて、書を出す皆さんも、選ぶ私も真剣だ。午前中の作業だった。なんとか終わりました。

○話は変わります。(夏の思い出)

昭和11年頃の話です。私は小学四年か五年ぐらいと思います。担任の先生はすぐく字の上手な方で又熱心でもありました。先生は今で言う「クラブ」みたいな塾を作りました。「洗心塾」でした。希望者は10名ぐらいだったと思います。

先生が熱心で次第に私は釘づけになりました。今思うとすぐく良かった時だと思えます。父は早くから亡く、母はいつも仕事で家は留守が多かった。

そのうち学童集団疎開や郷里のある者は縁故疎開が始まりました。親戚といっても生まれてから全く以て知らぬ家に預けられる。

○土讃線の善通寺の駅に母は私をつれて降りた。そこには軍の連隊があり、一番上の吾郎さん(兄)がいた。たくさん兵隊さんが敷物に弁当をひろげにぎやかにしていました。

母と私は兄と弁当をたべて別れた。又善通寺の駅から土佐に向かった。

私の疎開生活が始まることとなる。

月例競書課題

部 別	縮切日	
	十月二十日 縮切	十一月二十日 縮切
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	花重錦官城	客路青山外
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	新進気鋭	花意竹情
" 二年	鳥語花香	
" 一年	無我夢中	天下泰平
小学六年	希望の道	高い理想
" 五年	親切な心	星の世界
" 四年	美しい鳥	月の世界
" 三年	文 字	外 交
" 二年	な わ	き く
" 一年	と ら	ひ と
保 育		

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 895-8857

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 Ⓒ+Ⓐ=290円×月数
 17冊 Ⓒ+Ⓑ=360円× "
 30冊 Ⓒ×3=630円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合せ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 暁雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二〇三四四